

川と海が出会うまち

えどがわ 生き物ガイド

水生生物・野鳥編



えどがわ ストーリー



生き物たちが もどってくる!?

1 かつての江戸川区は 生き物たちの楽園だった。

昔、江戸川区をとりまく川や海は青くすんでいて多くの魚がのびのびと泳ぎ、鳥たちがたわむれるゆたかな自然が存在していました。そこでは子供たちが水遊びをしたり、漁業が行われたりまた交通の手段としても使われ、今よりも川や海と深く関わった生活が営まれていました。



2 鳥や魚たちが川や海から消えた?

時代が進み、人々のくらしは都市化にあわせて生活様式がどんどん変わり、家庭からの廃水や流域に立ちならぶ工場からの廃水が川や海にたくさん流れ込み、川と海的环境はどんどんわるくなり生き物たちはすがたを消しました。



えどがわ 生き物ガイド

もくじ

- えどがわストーリー 1~3
- 江戸川区をとりまく水環境 4
- 淡水にすむ水生生物 (大川川) 5~6
- 淡水にすむ水生生物 (親水公園や緑道) 7~8
- 汽水にすむ水生生物 (大川川) 9~10
- 汽水にすむ水生生物 (親水公園や緑道) 11~12
- 海水にすむ水生生物 13~14
- 家のまわりで見られる野鳥 15~16
- 川や池で見られる野鳥 17~19
- 河川敷で見られる野鳥 20
- 干潟で見られる野鳥 21~22
- 海で見られる野鳥 23~24
- 江戸川区の自然にはふしぎがいっぱい 25~26

3 自然は自分たちの手でとりもどせる。

地域の人々はよごれてしまった川や海をかつての自然なすがたにもとそうとよびかけあい、そのためのさまざまな活動や事業が行われました。地域の人々による水辺のゴミ拾いや行政機関による下水道や廃水処理施設、また親水施設整備といった多くの活動や事業によって江戸川区の自然は少しずつ息を吹き返し、一度はすがたを消した鳥や魚たちが、再びもどってきました。



■もどってきた自然

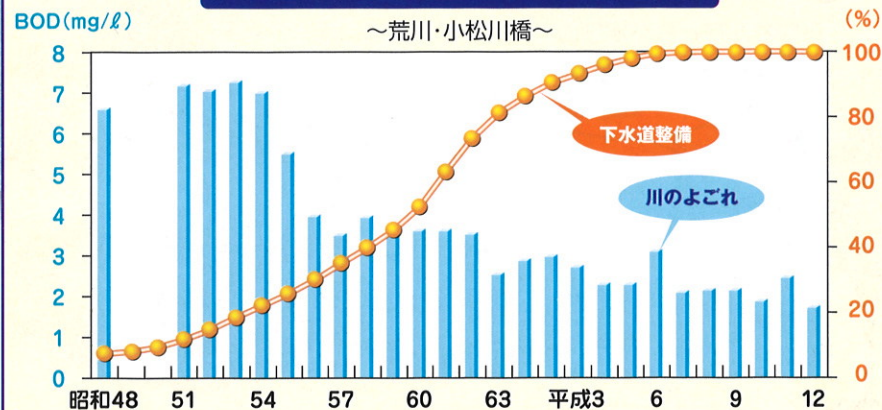


■ゴミひろい運動



■親水公園づくり

◆下水道の整備と川のよごれのうつりかわり◆



4 人間は自然と
上手にくらせる。

自然は私たちに多くのめぐみをあたえてくれます。人々が“自然を大切に思う心”をうしなってしまうえば自然はかんたんにこわれてしまいます。しかし、いつもその心をわすれることなく自然と向かい合うことができれば、自然をこわすことなく人々は自然と上手にくらしていくことができるのです。



江戸川区の環境をささえるのは、
みなさんひとりひとりの
責任にかかっています。



そして、川や海に
生き物たちが
戻ってきた。



江戸川区をとりまく水環境

江戸川区は江戸川、荒川、海にかこまれ、内部にも中小河川がながれています。その中でも江戸川は私たちの大切な水道水として使われています。また、江戸川区をとりまく水は「淡水」「汽水」「海水」域に分かれ、多くの生き物がすむ市内でも数少ない水環境にめぐまれた水辺の都市です。

淡水

塩分をふくまない水(真水)

海水

塩分がとても多く
ふくまれた水

汽水

淡水と海水がまじり
あった塩分の少ない海水



21世紀になった今、わたしたちの江戸川区には
さまざまな生き物がくらしています。これから
そのごく一部をしょうかいしていきます。



淡水
(大河川)

水生
生物

淡水
(親水公園
や緑道)

水生
生物

汽水
(大河川)

水生
生物

汽水
(親水公園
や緑道)

水生
生物

海水

水生
生物

家の
まわり

野鳥

川や池

野鳥

河川敷

野鳥

干潟

野鳥

海

野鳥

えどがわ
江戸川 (江戸川水門上流)

江戸川の水は水道水として使われるため、江戸川水門によって海水が混ざらないようにしています。水門を境に上流では淡水にすむ生き物が多く、とくに大きな魚がたくさんすんでいます。



ハクレン

出会い度：★★★★★

江戸川でもっとも大きい魚のひとつで、さんそ不足に強く空気呼吸ができます。レンギョとも呼ばれます。



ベンケイガニ

出会い度：★★★★★

クロベンケイガニと比べ、全体が赤い色をしていて、どちらも足に毛があります。



コイ

出会い度：★★★★★

流れがゆるやかなところにいます。とても長生きで、ふつうで20年、長いものだと70~80年をこえます。



アユ

出会い度：★★★★★

4月中ごろ、江戸川河口を大ぐんで上流へおよいでいくアユの子どもが見られます。



ヒメタニシ

出会い度：★★★★★

帰化生物ですが、汽水域にもすみ、よごれた水に強いです。



モツゴ (クチボソ)

出会い度：★★★★★

池や小川の岸边にかくれるようにすんでいます。なんでも食べ、黒い「シマ」は地域でちがいががあります。



ウシガエル

出会い度：★★★★★

食用として北アメリカから輸入したものがすみつきました。「ボーボー」となきます。

ミシシッピーアカミミガメ

出会い度：★★★★★

ペットとして北アメリカから入ってきました。「ミドリガメ」として売られていますが、かいかれずに、すてられることが多くなっています。



マルタウグイ

出会い度：★★★★★

行動はんいが広い魚で、なんでも食べます。はんしょくの時期になると、色があざやかになります。



ミズカマキリ

出会い度：★★★★★

池や水たまりで見られ、今は河川敷の用水路あとにひっそりとくらしています。



シオカラトンボのヤゴ

出会い度：★★★★★

よく見られるトンボの幼虫。ヤゴはアカムシ(ユスリカ)が大好きです。

ユスリカ

出会い度：★★★★★

気温が上がると川や水路でいっせいに卵化します。



調べてみよう

水生生物はどんなところでたまごをうむの？



上小岩親水緑道・ビオトープ

上小岩親水緑道は用水路を通ってきた自然水をじゅんかんさせていて、水がきれいなので他ではなかなか見られない水生こん虫が見られます。また河川敷のビオトープでも多くの水生生物やこん虫が見られます。

ドジョウ

出会い度：★★★★★

水の底のどろの中にすみ、口先に付いているヒゲでエサをさがし、どろごとすって食べます。

コミズムシ

出会い度：★★★★★

学校のプールや池などでよく見かけられます。羽があるので、水がきたなくなるといなくなってしまうです。



ニホンアマガエル

出会い度：★★★★★

体の色は、はい色や黒っぽいものなど、いろいろなしゅるいがある3cmほどの小さいカエルです。



アメンボ

出会い度：★★★★★

水たまりなどでよく見られます。木から落ちた虫などに集まって、はりのような口をつきさして食事をします。

ヨシノボリ

出会い度：★★★★★

このなかまは淡水だけにすむもの、海と行ったりきたりするものなど、しゅるいもいろいろです。



サカマキガイ

出会い度：★★★★★

「モノアラガイ」とにっていますが、ちがいは、巻き方が反対であることです。



ニホンアカガエル

出会い度：★★★★★

2月ごろ、水中にかたまり状のたまごをうみます。オタマジャクシの時は植物プランクトンをおもに食べます。



ザリガニ (アメリカザリガニ)

出会い度：★★★★★

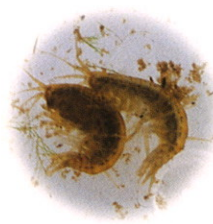
「ウシガエル」のエサとして北アメリカから輸入されました。メダカを食べることがあるので、むやみにはなしてはいけません。



コカゲロウのなかま

出会い度：★★★★★

カゲロウ類の多くは水中で生活し、羽化したあととは命が短いです。



ヨコエビのなかま

出会い度：★★★★★

ヨコエビ類は海から川の上流までいろいろなところにすんでいて、しゅるいもふくざつです。

ギンヤンマのヤゴ

出会い度：★★★★★

肉食でとてもどうもう。ミミズなどのエサがなくなると仲間を食べます。



ミズムシ

出会い度：★★★★★

水のながれるゆるやかな川底のかれ葉の下などにくらしています。よごれたところで見かけます。

シマトビゲラのなかま

出会い度：★★★★★

淡水の川底や小石、かれ葉などがある所で見るすることができます。



ハイロゲンゴロウ

出会い度：★★★★★

学校のプールなどにたくさんすみつきます。水がきたなくなると、よそにとんでいきます。



イトトンボのヤゴ

出会い度：★★★★★

区内でよく見られるのはアジイトトンボとアオモンイトトンボ。植物がしげる水辺に多くいます。



ギンブナ

出会い度：★★★★★

関東地方にはメスしかいないとされます。ほかのコイ科の精子のしげきで発生するが、ちゃんと「ギンブナ」として生まれるナゾの魚。

調べてみよう

ビオトープの水がかわってしまった時は生き物たちはどこへいくの？



あらかわ あらかわ ひがた えどがわ かこう しんなかがわ
荒川・荒川の干潟・江戸川河口・新中川

大河川の汽水域はゆたかな自然にめぐまれています。
そこでは、いちどはいなくなってしまうトビハゼや
めずらしい植物も見られます。

ボラ

出会い度：★★★★★

成長とともに名前をかえる出世魚です。子ども
の魚は水面近くをむれをなしておよぎます。
写真は子どもの魚です。



ウナギ

出会い度：★★★★★

たまごをうむために海に
くぐります。海でたまご
からかえると、やがて陸
に近づき、おとなの魚に
なると川をのぼります。



トビハゼ

出会い度：★★★★★

東京湾からいちど
はいなくなってしまうが、さいきん、
葛西海浜公園や荒
川の干潟でも見つ
かり、少しづつす
む場所もふえてき
ています。

イシガレイ

出会い度：★★★★★

春先の河口干潟では10円玉ていど
の小さいものがたくさん見られます。



マハゼ

出会い度：★★★★★

ハゼ科の中でいちばん多く食べられていて、
河口のだいひょうてきな魚です。



マゴチ

出会い度：★★★★★

ひらべったい体でヌルッ
としています。食べる
とおいしい魚です。



クロベンケイガニ

出会い度：★★★★★

河口近くの植物の多い
岸辺のあたりにすんで
いて、どろにあなをほり
集んでくらしています。



アベハゼ

出会い度：★★★★★

水のごれにつよく、河口
に多いハゼのなかまです。
あまり大きくなりません。

ギンボ

出会い度：★★★★★

カキがらが岸に付いてい
るような所にはギンボの
なかまがかくれています。



イソコツブムシ

出会い度：★★★★★

ダンゴムシみたいに体を丸めること
ができます。カキがらの中にもかく
れています。



フジツボ

出会い度：★★★★★

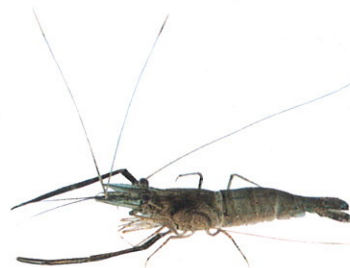
これが岩に付いてい
たら海に近いしょ
うこです。最近外国
からの「帰化種」も
ふえてきています。



テナガエビ

出会い度：★★★★★

汽水域のエビですが、淡水でも生きられ、
区内では多く見られます。しがいい有機
ゴミを片付けてくれる水辺のそうじ屋さん。



調べてみよう

いちどはいなくなったトビハゼが
江戸川区にもどってきたのはなぜだろう？



淡水
(大河川)

淡水
(潮水公園
や緑道)

汽水
(大河川)

汽水
(潮水公園
や緑道)

海水

家の
まわり

川や池

河川敷

干潟

海

一之江境川親水公園・左近川親水緑道

親水河川では自然水を取り入れ、護岸も自然なカタチにしているのていろんな生き物がたくさんすんでいます。またほかにはすんでいない生き物も見られます。さいきんではブラックバスなどの、外来種が発見され在来種が少なくなってしまうのではと心配されています。



モツゴ (クチボソ)

出会い度：★★★★★

大きくなると10センチくらいになります。はんしょくり力が強い魚です。



ニゴイ (幼魚)

出会い度：★★★★★ 川の中・下流にすみ、大きなものは40cm以上にもなります。



メダカ

出会い度：★★★★★ なくなってしまうと言われていたが、各地のほご運動により、だんだんふえてきています。



コイ

出会い度：★★★★★

あたたかい水をこのみます。日本では昔からよく食べられています。



セイゴ

出会い度：★★★★★

スズキの小さい時の名前。少し大きくなると「フッコ」と呼ばれています。



チチブ

出会い度：★★★★★

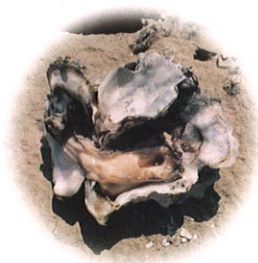
「ダボハゼ」ともよばれている魚で、区内の水辺でよく見られます。にたなかが多い魚です。



テナガエビ

出会い度：★★★★★

水のながれがゆるやかな、すなやどろのある場所にすんでいます。オスのハサミはとても大きく長くなります。



ケフサイソガニ

出会い度：★★★★★

河口や海岸の岩場やブロックのまわりに多く、オスはハサミの間に毛がはえています。

マガキ

出会い度：★★★★★

カキがたくさんいる岩場は、カニなどの生物のかくれ場・エサ場にもなっています。



ヤマトシジミ

出会い度：★★★★★

みそしると言えば「シジミ」と言う人が多いほど日本では昔からよく食べられています。

ウロハゼ

出会い度：★★★★★

つき出た下あごがとくちょう。昼は岩かげでじっとしていることが多く、夜にはエビなどを食べます。



淡水
(大河川)

淡水
(親水公園
や緑道)

汽水
(大河川)

汽水
(親水公園
や緑道)

海水

家の
まわり

川や池

河川敷

干潟

海

調べてみよう

外来種の生き物がすみつくとなぜ在来種が少なくなるのだろう？



葛西海浜公園のまわり

東西なぎさのあさいところは、ハゼやアユの子
どもが育つたいせつな場所です。また、水をきれ
いにする場所であることや江戸前の漁業資源を
ほごする目的もあり、地域の人たちや東京都でも
なぎさのまわりの自然を大切にまもっています。



サッパ
出会度：★★★★★
河口にすんでいて、体はたいら
でウロコがたくさんあります。



コノシロ
出会度：★★★★★
小がたのものは「コハダ」と呼ばれ、
お寿司屋さんでおなじみです。



マハゼ
出会度：★★★★★
ハゼ科の中でいちばん多く
食べられていて、河口にす
むだいひょうてきな魚です。



アシシロハゼ
出会度：★★★★★
淡水と海水がまじりあうところに多く
います。マハゼよりウロコの数少なく、
目と口の間も短いのがとくちょうです。



ビリンゴ
出会度：★★★★★
小がたのハゼ。マハゼやチチブは水の底を動きまわること
が多いが、このしゅるいはよく中間のあたりをおよぎます。



スズキ
出会度：★★★★★
舞浜大橋ふきんから海にかけてよく見られます。
エサはエビ・ゴカイ小魚などで、成長すると
もに名前がかわる出世魚です。



シモフリシマハゼ
出会度：★★★★★
ハゼつりをしているといっしょ
にかかります。タテジマがとく
ちようで、いる場所によって色
を変えます。



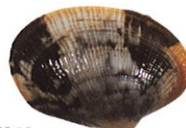
エビジャコ
出会度：★★★★★
大きくても5cmくらい。
すなやどろのある河口や海
底にすんでいます。べつ名
「ザコエビ」。



アシハラガニ
出会度：★★★★★
名前のとおりアシの
しげる海岸近くにす
んでいる。ハサミを
おなかにこすりあわ
せて音を出すとわ
れています。



チチュウカイミドリガニ
出会度：★★★★★
ヨーロッパの地中海から、タンカー
などにひそんでいるものがはこ
れてきたと言われる外来種。東京
湾でふえています。



アサリ
出会度：★★★★★
よごれた水をきれいにすることで、
さいきんとくに注目されています。



アカエイ
出会度：★★★★★
はだしでふみつけたり、
尾をつかんだりすると
刺されるので注意しま
しょう。



ミズクラゲ
出会度：★★★★★
クラゲのなかまは口はあるが肛門が
なく、体のほとんどは水分でできて
います。



トビハゼ
出会度：★★★★★
むなびれでどろの上などをはいまわったり、
尾のぶぶんをつかっているとびねたりします。

調べてみよう

海の生き物には私たちの食卓に
なるものがたくさんあるよ。



えどがわ
生き物ガイド

淡水 (大河川) 水生生物

淡水 (親水公園や緑道) 水生生物

汽水 (大河川) 水生生物

汽水 (親水公園や緑道) 水生生物

海水 水生生物

家のまわり 野鳥

川や池 野鳥

河川敷 野鳥

干潟 野鳥

海 野鳥

家のまわりで見られる野鳥

親水公園・親水緑道・公園

家に近くの公園などにも、よく気をつけて見ていると、いろいろな野鳥がすんでいることがわかります。これらの野鳥たちは、木の実やこん虫をおもにエサとしています。中にはなんでも食べる鳥もいます。



ムクドリ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

秋から冬にはむれになっているところをよく見ます。



キジバト

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

公園の木や街路樹などに巣を作ります。木の実をおもに食べます。

シジュウカラ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

白いほおがとくちょうで、虫をたくさん食べ、秋から冬に多く見られます。



ハシブトガラス

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

クチバシが太く、おでこが出ています。まち中でゴミをあさっていることがあります。



スズメ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

もっともみぢかな野鳥です。おもに草の種を食べますが夏には虫もよく食べます。



ヒヨドリ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

「ピーヨ、ピーヨ」と大きな声でなきます。まち中でよく見かけます。



メジロ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

体がグリーンで目のまわりが白く、秋から冬に多く見られます。



カワラヒワ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

飛ぶとつばさの黄色いもようが目立ちます。「キリキリコロコロ」となきます。



ハクセキレイ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

白黒の体で尾が長く、尾を上下によくふります。



オナガ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

つばさと尾は美しい青色で尾が長いのがとくちょうです。



アオジ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

やぶにすみ「チッチ」となきます。地面で草のたねをさがして食べます。

ウグイス

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

やぶの中にいてすがたを見ることは少ないですが、「ジャッジャッ」という声をたよりにみつけることもできます。



ツバメ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

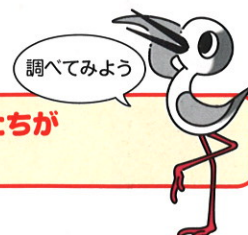
どろとかれ草などで家のかべなどに巣を作ります。飛びながら虫をつかまえて食べます。



キビタキ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

緑が多い場所できどき見られ、虫を食べます。メスは体のすべてがオリーブ色です。



モズ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

するどいクチバシで、こん虫などをつかまえます。ときにはスズメなどの小鳥をつかまえて食べることもあります。



ジョウビタキ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

せなかの白いはん点がとくちょうです。冬の間は一羽ずつなわばりを作ってくらしします。



ツグミ

出会度：★★★★★
季節：春夏秋冬

地面でミミズをさがして食べたり木の実を食べたりします。



淡水 (大川川)

淡水 (親水公園や緑道)

汽水 (大川川)

汽水 (親水公園や緑道)

海水

家のまわり

川や池

河川敷

干潟

海

鳥によってクチバシのかたちがちがうのはなぜ？

えどがわ あらかわ しんなかがわ かさいりんかいこうえん ちょうるいえん
江戸川・荒川・新中川・葛西臨海公園（鳥類園）

江戸川区は大河川がながれる水環境の豊かな場所です。魚などの水生生物や水草などの植物も多いのでそれをエサにする水鳥がたくさん集まっています。



カワウ

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

夏は海、冬は川でエサ（魚）をとることが多く、編隊をくんで飛びます。



カイツブリ

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

水にもぐって魚をつかまえます。水の上に草のクキを集めて巣を作ります。



コサギ

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

クチバシは黒く足指が黄色で、魚をつかまえて食べます。



ダイサギ

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

シラサギの中でいちばん大きく、クチバシは夏は黒く、冬には黄色になります。



アオサギ

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

体が灰色の大きなサギです。



ゴイサギ（幼鳥）

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

夕方から朝にかけてかつどうします。成鳥になると頭からせなか黒っぽくおなか白くなります。



オオバン

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

水草や水生こん虫を食べます。黒い体に白いひたいがとくちょうです。



バン

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

草のたねやこん虫を食べます。黒い体に赤いひたいがとくちょうです。



ユリカモメ

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

クチバシと足が赤く、白い体がとくちょうです。水面にういたエサをさがして食べます。



カワセミ

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

水中に飛びこみ小魚をつかまえます。いちどは区内からすがたを消してしまいましたが、さいきんになって少し見られるようになりました。



コアジサシ

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

水中に飛びこみ小魚をつかまえます。ツバメのようなスマートな体つきをしています。



ウミネコ

出会い度：★★★★★
季節：春夏秋冬

夏にも見られるカモメで「ミャーオー」というネコに似た声を出します。

調べてみよう

？ 水辺に集まる鳥はどんなものをどのようにして食べるの？



川や池で見られる野鳥

(カモのなかま)

江戸川・荒川・新中川・葛西臨海公園 (鳥類園)

カモのメスはどのしゅるいも茶色っぽいめだたない色をしているので見わけることがむずかしいですが、羽の色がうつくしいオスといっしょにいることが多いです。



マガモ

出会い度: ★★★★★
季節: 春 夏 秋 冬

親水公園や親水緑道でも見られることがあります。オスもメスも同じ色です。



マガモ

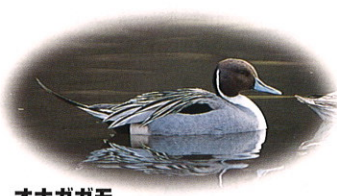
出会い度: ★★★★★
季節: 春 夏 秋 冬

オスは青緑色のあたまに黄色いくちバシがとくちょうです。



ヒドリガモ

出会い度: ★★★★★ 草のたねや海草を食べます。
季節: 春 夏 秋 冬 江戸川に多くすんでいます。



オナガガモ

出会い度: ★★★★★
季節: 春 夏 秋 冬

長い尾がとくちょうで、水中に首を入れてさか立ちしてえさをとります。



ハシビロガモ

出会い度: ★★★★★ 大きなくちバシを水面につけて、プランクトンなどのえさをとります。



コガモ

出会い度: ★★★★★
季節: 春 夏 秋 冬

茶色と緑のあたまと、黄色いおしりがとくちょうです。カモのなかまではいちばん小さいカモです。



キンクロハジロ

出会い度: ★★★★★ 目が金色で体が黒く、おなかが白いのがとくちょうです。水にもぐって貝などの水生生物をとります。



ホシハジロ

出会い度: ★★★★★ 水にもぐっておもに水草や植物のたねを食べます。

河川敷で見られる野鳥

江戸川・荒川

河川敷には草地やアシ原が広がっており、野鳥たちはそこでエサをとったり巣を作ったりしています。しかし近ごろではアシ原がへってきているので数が少なくなっている野鳥もいます。



ヒバリ

出会い度: ★★★★★
季節: 春 夏 秋 冬

河川敷などのひらけた草地にすんでいます。空高くまい上がりさえするのがとくちょうです。

オオヨシキリ

出会い度: ★★★★★
季節: 春 夏 秋 冬

夏鳥としてアシ原にやってきます。「ギョギョシ、ギョギョシ」と大きな声でなきます。



セッカ

出会い度: ★★★★★
季節: 春 夏 秋 冬

飛びながら「ヒヒヒ」となき、まいおりるときには「チャチャチャ」となき、こん虫などを食べます。

オオジュリン

出会い度: ★★★★★
季節: 春 夏 秋 冬

アシ原にすんでいて、アシのクキをむいて中にある虫を食べます。



チョウゲンボウ

出会い度: ★★★★★
季節: 春 夏 秋 冬

橋さくなどのすき間に巣を作ります。体が小さいハヤブサのなかまです。



ハシボンガラス

出会い度: ★★★★★
季節: 春 夏 秋 冬

くちバシがほそく、「ガーガー」となきます。

調べてみよう

? アシ原はなぜへってきているの?



淡水 (大河川)	水生生物
淡水 (親水公園や緑道)	水生生物
汽水 (大河川)	水生生物
汽水 (親水公園や緑道)	水生生物
海水	水生生物
家のまわり	野鳥
川や池	野鳥
河川敷	野鳥
干潟	野鳥
海	野鳥

ひがた
干潟で見られる野鳥

かさいかいひんこうえん あらかわ
葛西海浜公園・荒川

葛西海浜公園や荒川、また葛西臨海公園の鳥類園
の下の池には、潮が引いたときに干潟ができます。
これらの干潟には野鳥のエサとなる水生生物が
たくさんすんでいます。

コチドリ

出会い度：★★★★★
季節：夏 秋 冬

すなや小石のある場所に
すむ夏鳥です。チドリ
の中ではいちばん小さく、
全長16センチぐらいです。



ハマシギ

出会い度：★★★★★
季節：春 夏 秋 冬

干潟でむれになって
エサをさがします。



キアシシギ

出会い度：★★★★★
季節：春 夏 秋 冬

干潟でカニやゴカイをつかま
えたり、こん虫などを食べます。
「ビューイビューイ」となきます。



トウネン

出会い度：★★★★★
季節：春 夏 秋 冬

スズメほどの小さい
シギで、干潟でエサ
をさがします。

アオアシギ

出会い度：★★★★★
季節：春 夏 秋 冬

やや上にそったクチバシ
と長い足がとくちょうで、
小魚やカニを食べます。

チュウシャクシギ

出会い度：★★★★★
季節：春 夏 秋 冬

下に曲がったクチバシで、どろの
中のカニをとったりこん虫なども
食べるわたり鳥です。



タシギ

出会い度：★★★★★
季節：春 夏 秋 冬

長いクチバシでどろの中のミミズや
こん虫をつかまえて食べます。せな
かのもようが、かれ草ににています。



イソシギ

出会い度：★★★★★
季節：春 夏 秋 冬

飛ぶとつばさの白い線がめだちます。
一年中見られ、よく尾を上下にふります。



セイタカシギ

出会い度：★★★★★
季節：春 夏 秋 冬

ピンク色の長い足がとくちょうです。
区内では20年ぐらい前から見られる
ようになりました。10年ぐらい前から
は鳥類園の池で、ときどきはんしよくし
ています。

調べてみよう

ひがた
干潟にすむ鳥たちはエサを
どのようにしてとっているの？



淡水
(大河川)

淡水
(緑水公園
や緑道)

汽水
(大河川)

汽水
(緑水公園
や緑道)

海水

家の
まわり

川や池

河川敷

干潟

海

葛西海浜公園のまわり

葛西海浜公園には多くのわたり鳥が冬をこすためにやってきます。中には数万羽もやってくる鳥もいます。都内一の野鳥の楽園です。

ハジロカイツブリ

出会い度：★★★★★

季節：春 夏 秋 冬

水にもぐって魚などをつかまえます。



夏羽



冬羽

冬羽



カンムリカイツブリ

出会い度：★★★★★

季節：春 夏 秋 冬

毎年3千羽ほどが葛西海浜公園にやってきます(日本一の飛来地)。首が長く頭のかんむり羽がとくちょうです。



スズガモのむれ



スズガモ

出会い度：★★★★★

季節：春 夏 秋 冬

毎年冬に数万羽がやってきます。おもに海底の貝などを食べます。

ホオジロガモ

出会い度：★★★★★

季節：春 夏 秋 冬

頭のかたちが三角形のおむすびがたをしていて、ほかに白いはん点があるのがとくちょうです。



ミサゴ

出会い度：★★★★★

季節：春 夏 秋 冬

頭とおなか白いタカです。海岸などで魚をつかまえて食べます。

ノスリ

出会い度：★★★★★

季節：春 夏 秋 冬

ネズミや小鳥をつかまえて食べます。



チュウヒ

出会い度：★★★★★

季節：春 夏 秋 冬

アシ原のある場所にすんでいて、ネズミや小鳥などをつかまえて食べます。



アジサシ

出会い度：★★★★★

季節：春 夏 秋 冬

春と秋にむれが見られます。

ミヤコドリ

出会い度：★★★★★

季節：春 夏 秋 冬

まれに東なぎさで見られます。三番瀬(船橋市)とを行ったり来たりします。

調べてみよう

わたり鳥は、どこから日本にやってきていつどこへ旅立つの？



淡水
(大河川)

淡水
(親水公園
や緑道)

汽水
(大河川)

汽水
(親水公園
や緑道)

海水

家の
まわり

川や池

河川敷

干潟

海



江戸川の自然には、ふしぎがいっぱい

ちょっと歩くだけでこんなところにいろんな生き物が!?
きっと新しい発見に出会うはず。目をこらしてさあ出発だ!!



干潟

荒川下流には潮の満ち引きによってところどころに干潟ができるんだ。そこには、いちどはいなくなったと言われた“トビハゼ”も発見されたりいろんな種類のカニもすんでいるよ。

左近川親水緑道

江戸川区の親水河川でとくに多く生き物が見られるのが左近川親水緑道と一之江境川親水公園。「えっ!?こんなところにこんな生き物が」なんてこともあるふしぎがいっぱいのところだよ。

葛西海浜公園・葛西臨海公園

葛西海浜公園ではふだん家のまわりでは見られない水の生き物や、季節ごとにやってくるわたり鳥がたくさん見られるんだ。「セイタカシギ」が見られるかもしれないよ。



取水口

江戸川の水は私たちの水道の水として使われていることは知っていた? 水をくみ上げるあたりにはゆたかな自然が広がっていて、多くの水生生物や野鳥がやってくるよ。

江戸川

江戸川は江戸川水門を境に上流は淡水に、下流は汽水になっているので、すんでいる生き物が水門を境にガラッと変わるよ。汽水でも淡水でも生きられる魚は水門がひらくと、いっせいに川をのぼるんだ。



かならず大人と行こう

川や海にはかならず大人と出かけよう。
また、家の人にも必ず行き先と帰る
時間を伝えよう。

1

はだしで水の中には入らない

はだしで水に入ると水の中のゴミなど
で足を切ったりすることがあります。

2



これだけは
まもろう

水辺に出かける時の

ルールと
マナー

ゴミは持って帰ろう

自分たちが出したゴミは必ず自分た
ちで持って帰ろう。

4

けいそう 軽装で出かけるのはやめよう

日よけのぼうしや、体をふくタオルなど
も用意して出かけよう。

3

はな ペットを放すのはやめよう

自然の中でくらしている生き物がくらし
にくくなるのでミドリガメやブラック
バスなどを放してはいけません。

5



この冊子は、再生紙を使用しています。

インキは、石油資源の保護や大気汚染や作業環境に有効な大豆油インキを使用しています。

R100

発行 公益財団法人 えどがわ環境財団

編集協力 江戸川区
資料提供

監修 佐々木 洋 (プロナチュラリスト)

2002年4月発行

〒132-0031 東京都江戸川区松島1丁目44番12号KTパークビル